

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器内科に、超音波内視鏡下穿刺吸引法を受けられた患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における超音波内視鏡下穿刺吸引法の現状と成績

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器内科 部長 長谷川 和範

3. 研究の目的

超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA) は、超音波内視鏡を用いて胃や十二指腸などの消化管から病変を観察し、穿刺・吸引することで検体を採取する内視鏡手技です。対象となる病変は、通常の内視鏡では組織を得ることが難しい粘膜下腫瘍や、消化管に隣接した膵臓やリンパ節、少量の胸・腹水などです。現在ではスタンダードな検査法となっており、当院でも 2014 年 5 月より導入しております。この検査法の正診率 (正しく組織診断がなされているか) の成績について検討することで、今後の手技の向上が図れると考えております。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成 26 年 6 月から平成 29 年 12 月までの期間中に、超音波内視鏡下穿刺吸引法を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、病理組織結果に関する情報です。

(3) 方法

超音波内視鏡下穿刺吸引法における正診率について検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器内科 担当医師 長谷川 和範

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834
E-mail : kazuhase@ajk.takatsuki-hp.or.jp